

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<研究課題名>

ぶどう膜炎後ろ向き疫学調査

<研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院 眼科（研究責任者） 菅谷 哲史

<研究期間>

承認日 ～ 西暦 2022年 3月 31日

<研究の目的と意義>

ぶどう膜炎は、眼内に炎症を及ぼす疾患群の総称であり、原因として自己免疫疾患、膠原病、感染症、悪性腫瘍などがあります。日本におけるぶどう膜炎の原因疾患を調べることは、ぶどう膜炎の原因を診断していくためにもその対策を練る上でも非常に重要な情報となります。今までに日本眼炎症学会が主体となり定期的な疫学調査を行ってきました。今回、私たち日大板橋病院も疫学調査に参加することになりました。受診した患者のカルテデータをまとめて、全国規模でデータを集めて、分析することを目的とします。

<利用する試料・情報の項目>

当科を初診で受診された患者のカルテデータから、診断名、年齢、性別、炎症の主たる部位などの情報を取得します。

<対象となる患者さん>

日本大学板橋病院眼科において 2016年4月1日から 2017年3月31日までにぶどう膜炎の診断で初診された患者さまを対象にします。対象人数は、研究全体 3000名 当院患者約 40名です。

<研究の方法>

あなたの年齢、性別、ぶどう膜炎の原因疾患名、罹患部位を診療記録より収集します。診断名が確定していれば、調査票の該当する疾患の患者数をひとつ増やします。決してこの調査票にはあなたの個人情報は記入されません。記入されるのは患者数のみです。また診断がついていない場合には、「原因不明」の患者数をひとつ増やします。この研究のために新たに検査を行うことや、試料を採取することはありません。

[取得する情報]

年齢、性別、ぶどう膜炎の原因疾患名、罹患部位

<外部への試料・情報の提供等>

あなたのカルテの情報をこの研究に使用する際には、あなたのお名前の代わりに研究用の番号を付けて取り扱います。あなたと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、日本大学視覚科学系眼科学分野内のインターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、同分野の職員によって入室が管理されており、第三者が立ち入ることはできません。

また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、あなたが特定できる情報を使用することはありません。まとめたデータは、研究実施期間である九州大学大学院医学研究員眼科学分野へ郵送して情報提供いたします。対応表は、研究担当者が保管、管理致します。

<研究組織>

研究実施機関 九州大学大学院医学研究院眼科学分野

研究責任者 九州大学大学院医学研究院眼科学分野 教授 園田 康平

共同研究機関

全国 大学病院及び主要市中病院 72 機関 参考HP

ホームページの名称：九州大学眼科ホームページ

ホームページの URL：http://www. eye. med. kyushu-u. ac. jp

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)

眼科 氏名:菅谷 哲史

電話:03-3972-8111 内線:(医局)2532